

周産期医療と救急医療の確保と連携に関する懇談会

第3回

日時：平成20年11月25日（火）18:00～19:30

場所：厚生労働省5階 共用第7会議室

議 事 次 第

議題

1. 今後の対策について議論

【配付資料】

資料1：第2回議事要旨（案）

資料2：今後の対策について（骨子案）

○参考人からの提出資料

岡本喜代子 （社）日本助産師会 副会長

照井 克生 埼玉医科大学総合医療センター産科麻酔科診療科長

○各委員からの提出資料

（木下委員、田村委員）

周産期医療と救急医療の確保と連携に関する懇談会

開催要綱

1. 趣旨

現在、周産期の救急医療体制の充実が全国的に非常に重要になっていることから、妊産婦が安心して子供を産み・育てることができるよう、早急に対策を講ずる必要がある。このため、周産期の救急医療体制の強化が図られるよう、周産期医療と救急医療の確保と連携の在り方について検討する。

2. 検討事項

- (1) 周産期医療と救急医療の確保の在り方
- (2) 周産期医療と救急医療の連携の基本的枠組み
- (3) その他

3. 構成員

厚生労働大臣及び構成員（別紙）で構成する。

4. 運営

- (1) 本会議の庶務は、厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課と協力しつつ、同省医政局指導課で行う。
- (2) 議事は公開とする。
- (3) 本懇談会の構成員については、厚生労働大臣が委嘱する。

5. 検討スケジュール

12月中を目途に取りまとめ予定。

(別紙)

構成員名簿

阿真 京子 「知ろう！小児医療 守ろう！子ども達」の会 代表
有賀 徹 昭和大学医学部救急医学講座 主任教授
池田 智明 国立循環器病センター周産期科 部長
海野 信也 北里大学医学部産婦人科学 教授
大野 泰正 大野レディースクリニック 院長
岡井 崇 昭和大学医学部産婦人科学教室 主任教授
嘉山 孝正 山形大学 医学部長
川上 正人 青梅市立総合病院 救命救急センター長
木下 勝之 順天堂大学医学部産婦人科学講座 客員教授
杉本 壽 大阪大学医学部救急医学 教授
田村 正徳 埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター長
藤村 正哲 大阪府立母子保健総合医療センター 総長
横田順一郎 市立堺病院 副院長

<第3回懇談会参考人>

岡本喜代子 (社)日本助産師会 副会長
迫井 正深 広島県健康福祉局長
佐藤 秀平 青森県立中央病院母体・胎児集中治療管理部 部長
照井 克生 埼玉医科大学総合医療センター 産科麻酔科診療科長

(敬称略、五十音順)